

科 目	受 験 生 記 入 欄	
記述試験 (音楽音響創造) 2枚のうちの1枚目	科 声種: 専攻 楽器:	受 験 番 号
		番

(ア)

(イ)

1. 下記の楽譜について、(a)~(e)の音程 (実音による) を日本語で書きなさい。また、(1)~(5)は (例) にならって、適宜、異名同音を用いながら和音を基本形に直し符頭によって記しなさい。

The musical score is divided into three systems. The first system, 'Moderato (♩=80)', shows Violin I and II, Viola, and Cello parts. Measure 1 has a dynamic of *mp*. Measure 2 has a dynamic of *mf*. Measure 3 has a dynamic of *f*. Measure 4 has a dynamic of *f*. Measure 5 has a dynamic of *f*. The second system, 'Adagio (♩=40)', shows Violin I, Violin II, Viola, and Cello parts. Measure 6 has a dynamic of *pp*. Measure 7 has a dynamic of *f*. Measure 8 has a dynamic of *f*. The third system, 'Moderato (♩=80)', shows Violin I, Violin II, Viola, and Cello parts. Measure 9 has a dynamic of *p*. Measure 10 has a dynamic of *p*. Measure 11 has a dynamic of *p*. The score includes various musical notations such as dynamics, articulation, and tempo markings.

2. 下記の事項から二つを選んで、その特徴を書きなさい (各 200 字程度)。

- (1) 口琴 (こうきん)
- (2) ベルカント唱法
- (3) zink (ツィンク)
- (4) ホーミー
- (5) viola da gamba (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

3. 下記の事項から二つを選んで、その意味を書きなさい (各 200 字程度)。

- (1) subito p (スビト・ピアノ)
- (2) aeolian tone (エオリアン・トーン)
- (3) subtractive synthesis (サブトラクティブ・シンセシス、減算合成)

4. 下記の人物から二人を選び、作品の特徴や業績について書きなさい (各 200 字程度)。

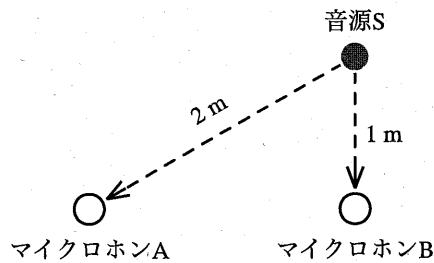
- (1) ニコライ・リムスキー=コルサコフ
- (2) マックス・マシューズ
- (3) 一柳慧

科目	受験生記入欄		
記述試験(音楽音響創造) 2枚のうちの2枚目	科 専攻	声種: 楽器:	受験番号 番

(ア)

(イ)

5. 反射の無い自由音場において、図のように2本の全指向性マイクロホンA、Bと全指向性の音源Sを配置した。ただしマイクロホンA、Bの感度は -34 dB(基準の感度: 1 V/Pa)で、周波数特性は全帯域において平坦で指向性も等しいとする。次の問いに答えなさい。



- (1) 点音源Sからピンクノイズを再生したところ、マイクロホンAの出力電圧が -40 dBであった。マイクロホンAにおける音圧レベルは何dBか?
 - (2) この時のマイクロホンBの出力電圧は何Vか?
 - (3) マイクロホンAを左チャンネル、マイクロホンBを右チャンネルに送ってステレオ録音をおこなった。点音源Sから正弦波を低い周波数から徐々に周波数を上げて再生したら、ある周波数ではじめて左右の音が逆相になった。この時の周波数を求めなさい。音速は 340 m/sとする。
6. 周波数 1000 Hz、音圧レベル 60 dBの正弦波について、周波数の弁別閾を調べたい。どのような機材と方法で実験を行えばよいか、詳しく説明せよ。
7. 次の音響およびデジタルオーディオに関する用語について簡潔に説明しなさい。
- (1) ルームモード
 - (2) A特性音圧レベル
 - (3) ファンタム電源

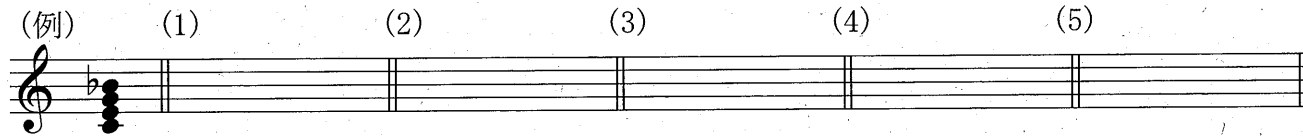
科 目	受 験 生 記 入 欄	
記述試験 (音楽音響創造) 4枚のうちの1枚目	科 声種: 専攻 楽器:	受 験 番 号 番

(ア)

(イ)

1. 楽譜について、(a)~(e)の音程 (実音による) を日本語で書きなさい。また、(1)~(5)は (例) にならって、適宜、異名同音を用いながら和音を基本形に直し符頭によって記しなさい。

(a) _____ (b) _____ (c) _____ (d) _____ (e) _____



2. 下記の楽器から二つを選んで、その特徴を書きなさい (各 200 字程度)。

- (1) 口琴 (こうきん) (2) ベルカント唱法 (3) zink (ツィンク)
 (4) ホーミー (5) viola da gamba (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

楽器: _____

楽器: _____

科目 記述試験 (音楽音響創造) 4枚のうちの2枚目	受験生記入欄	
	科 専攻	声種: 楽器:
		受験番号 番

(ア)

(イ)

3. 下記の事項から二つを選んで、その意味を書きなさい (各200字程度)。

- (1) subito p (スビト・ピアノ) (2) aeolian tone (エオリアン・トーン)
 (3) subtractive synthesis (サブトラクティブ・シンセシス、減算合成)

事項:

.....

.....

.....

.....

事項:

.....

.....

.....

.....

4. 下記の人物から二人を選び、作品の特徴や業績について書きなさい (各200字程度)。

- (1) ニコライ・リムスキー=コルサコフ (2) マックス・マシューズ (3) 一柳慧

人物:

.....

.....

.....

.....

人物:

.....

.....

.....

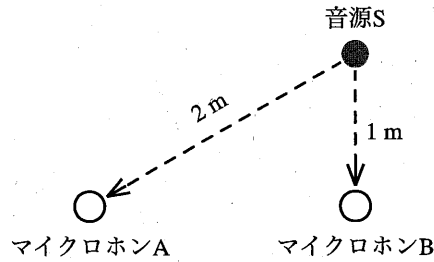
.....

科目	受験生記入欄		
記述試験 (音楽音響創造) 4枚のうちの3枚目	科 専攻	声種: 楽器:	受験番号 番

(ア)

(イ)

5. 反射の無い自由音場において、図のように2本の全指向性マイクロホンA、Bと全指向性の音源Sを配置した。ただしマイクロホンA、Bの感度は -34 dB (基準の感度: 1 V/Pa) で、周波数特性は全帯域において平坦で指向性も等しいとする。次の問いに答えなさい。



(1) 点音源Sからピンクノイズを再生したところ、マイクロホンAの出力電圧が -40 dBであった。マイクロホンAにおける音圧レベルは何dBか?

(2) この時のマイクロホンBの出力電圧は何Vか?

(3) マイクロホンAを左チャンネル、マイクロホンBを右チャンネルに送ってステレオ録音をおこなった。点音源Sから正弦波を低い周波数から徐々に周波数を上げて再生したら、ある周波数ではじめて左右の音が逆相になった。この時の周波数を求めなさい。音速は 340 m/sとする。

科目	受験生記入欄	
	記述試験 (音楽音響創造) 4枚のうちの4枚目	科 声種: 専攻 楽器:

(ア)

(イ)

6. 周波数1000 Hz、音圧レベル60 dBの正弦波について、周波数の弁別閾を調べたい。どのような機材と方法で実験を行えばよいか、詳しく説明せよ。

7. 次の音響およびデジタルオーディオに関する用語について簡潔に説明しなさい。

(1) ルームモード

(2) A特性音圧レベル

(3) ファンタム電源